



丸山 康夫 議員

# 災害に対する町の体制は

## 【答】防災机上訓練及び職員参集訓練を令和元年度内に実施する

警報などの発令状況と町がとった行動

日	時間	警報及び町の行動	警戒レベル
8月27日(水)	12:24	大雨注意報発令	警戒レベル3
	17:26	大雨、土砂災害警報発令 役場職員の待機を開始 第2次配備	
	17:30	南部消防署 警戒本部を設置	
	18:48	土砂災害警戒情報発令	
	19:00	町長が登庁 消防団による山付地域の巡回開始 各課による町内パトロール開始	
28日(木)	5:50	大雨特別警報発令	警戒レベル4
	6:00	小学校の休校を決定	
	18:00	災害対策本部を設置 第3次配備	
	19:00	避難準備情報を発表	
29日(金)	6:00	小学校の休校を決定	警戒レベル3
	11:50	土砂災害警戒情報が解除 第2次配備に切り替え	
30日(土)	4:13	大雨警報解除	警戒レベル3
	4:20	自主避難所の閉鎖・災害警戒本部の解散	

**問** 九州北部豪雨災害の傷跡も癒えぬまま、梅雨前線による大雨シーズンを乗り越え、台風シーズンに突入した。今年は台風ラッシュとの見解もあり大変心配している。そのような中で、8月27日から秋雨前線の影響による大雨が九州北部を襲った。気象庁から土砂災害

**問** 27日の19時以降、インターネット上では「警戒レベル4」が表示され、テレビでは近

**答** 総務課長 回答は左表のとおり。

隣自治体の避難指示等の情報がテロップで流れ続けていた。  
宇美町は、災害対策本部の設置が近隣の市町に比べ23時間ほど遅く、しかも町から何の情報も発信していなかったがその理由は、  
**答** 課長 筑紫野市や太宰府市、大野城市とは谷がちがう。宇美町はさして大雨も降っていないなかったため、住民の混乱を避けるためにあえて情報発信は行わなかった。  
**問** 災害警戒本部を設置したとあるが、本部員を集めて会議を行い情報共有したのか。  
**答** 課長 会議は行っていないが、情報は共有していた。

**問** 災害対策本部を設置したとあるが、本部員を集めて会議を行い情報共有したのか。  
**答** 課長 臨時課長会を行い、そこで災害対策本部を設置すると宣言した。

**問** 今回の大雨では町の対応が後手に回っていた。職員の訓練が適

切に行われていないことが原因と思われる。  
机上訓練及び参集訓練を行う計画が立ててあったが、計画どおり実施していたのか。  
**答** 課長 机上訓練は現在、福岡県の防災アドバイザーに申し込みを行っている。  
参集訓練は全職員にメールの一斉配信を行うのが非常に難しい状況である。未だ数十名にメールが届かない状況のため早い段階で改善できるように努力している。

**問** 今後、梅雨前線等による大雨対策、台風対策、地震対策の3点に対し、机上訓練及び職員参集訓練が必要だと思うが、いつまでに誰の責任において実施するのか。  
**答** 副町長 机上訓練及び職員参集訓練も私が指示、指導を行い令和元年度(令和2年3月31日まで)中に実施する。

◆その他の質問  
消防団員の悲痛な叫びに対する取り組みは



飛賀 貴夫 議員

## 『宇美ブランド』の創生は

### 答 町独自の子育てと教育の 特色化をめざす

**問** 本年4月に実施の全国学力・学習状況調査結果が8月に発表された。この調査結果の分析や教育水準を高める取組は。また学校に格差が生じた場合の是正は。

**答** 教育長 調査結果を全国や県と比較するなど、多面的に分析を行い、特に低学力層の子どもの実態を把握し、今後の指導に生かしていく。

また、各学校を訪問して学力向上に関する内容を重点的にヒヤリングし、学力状況と今後の取組の指導、助言を行っている。

**問** 私が2期目の当初、平成26年から訴えてきた町内全小中学校へのエアコン設置が実現し、ついに本年度の2学期から運用開始となった。これも関係各課の鋭意努力によるものであり敬意と感謝を申し上げる。

このエアコン設置を機に教育環境に波及させなければならぬと考えるが、夏休みの短縮化や休み中に教室を開放し、寺子屋教室や補習・集中学習など、宇美町独自の特徴ある教育行政を推進しては。

**答** 教育長 エアコン設置により、集中して学習する様子を見ることができ、子どもたちも喜んでいる。

設置効果に着目し、これまでの取組の積極的な推進と宇美町独自の特徴ある教育施策を考える。

夏休み短縮化は、研究する必要がある。

**問** 2020年度から新学習指導要領の全面实施となり、小学3、4年生は外国語活動が始まり、5、6年生は必修となる。

質の高い英語教育が重要で、教員の指導力を高めることが必要。また、専科指導教員

を配置することも、一つの方策と思うが、国や県への働きかけは。

**答** 教育長 現在、国や県で指導力の研修を受けた英語指導に優れた教員を積極的に活用するように指導している。

また専科指導教員配置のため要件等を研究し、国や県へ働きかけたい。

**問** 教育の重要性を再認識し、宇美の未来を担う子どもたちを社会総がかりで育成するなど、町制施行100周年記念事業の一環として恒久的に教育に関する特別な日を制定し、教育の町・宇美を掲げる宇美ブランド創生に取り組んで。

**答** 教育長 学校や保護者だけでなく、地域住民の方々も教育推進の当事者になっていただき、議論を深め、宇美の子どもたちの健全な成長を願う、「仮称宇美町の教育の日」の

制定について検討していきたい。

**問** 人口減少対策や定住者促進には宇美町のブランドが必要であり、それは「教育」と「子育て」と考える。

特に子育てを拡充する上で、「仮称子ども権利条例」の制定が必要不可欠である。

宇美ブランドとして「教育の町」「子育ての町」を創生する考えは。

**答** 町長 第6次宇美町総合計画の後期実践計画の重要施策で、子育てと教育の充実を掲げ、宇美町独自の子育てと教育の特色化をめざす。

児童虐待や子どもの貧困等の解消に向けた条例制定の提案については、議会に対し連携、協力を図る考えである。